

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	れっつ中庄（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	R8 年 1 月 5 日		～ R8 年 1 月 24 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	R8 年 1 月 13 日		～ R8 年 1 月 24 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8 年 3 月 5 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家族との関わりを大切にしている	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の報告に加えて、連絡帳アプリを通して様子について、できるだけ詳細にお伝えしている。 ・保護者の方に寄り添い、しっかりと話を聞くことを心がけている ・年3回の面談の実施や、家族間の関わりにも繋がるよう茶話会の開催をしている。また、事業所以外の場所でも家族間での関わりや一緒に楽しむ経験に繋がるようイベントを行っている。 	継続的に実施できるよう、計画的に取り組む
2	外部講師からのコンサルテーションを受ける等して、職員のスキルアップを図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師のコンサルテーションや、積極的に研修に参加し共有を行いながら、職員のスキルアップに繋げている。 ・個性のある支援に繋げていけるよう、話し合う時間を取ることや、意見を出し合える環境づくりをしている。 	スキルアップを図る中で、家族支援にも繋がるペアレントトレーニングなど要望のある支援についても、専門家の力も借りしながら取り組む。
3	定期的なアセスメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にあセスメントを実施し、結果をもとに支援の組み立てを行う流れを作る。 ・結果については保護者の方と共有をし、そのうえで支援内容についても一緒に検討する。 	コンサルテーションや研修の受講など行いながら、支援の幅を広げていく。 アセスメントの結果から、個性のある支援に繋げていくための、職員のスキルアップを図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応の周知が不十分であった	避難訓練等実施の際には様子をお伝えてしているが、回数としては多くなかったため、実施している認識が持ちにくかった可能性がある。	実施回数を増やし、定期的な取り組みをSNSも通じて発信していく。 年度初めには、保護者に対して安全確保計画などの周知を丁寧に行う。
2	地域の方や子どもたちとの交流の場が作れていない	地域の園との並行利用の方ばかりであり、すでに交流をされていることから、改めて設定をする意識が持ていなかった。	イベント等を通じて交流の機会に繋げていくことを検討する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	れっつ中庄（放課後等デイサービス）		公表日		R8年 3月 5日			
		利用児童数	21名		回収数	15名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15					個々に合った支援に繋がることや、安心して過ごしていただける空間や職員配置にしております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			1		お子様にとって分かりやすい環境や安心安全に過ごせる場になるよう配慮しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15					・支援プログラムをもとに、個々の発達段階や成長に応じた支援に繋がるよう、定期的に見直しを行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					ガイドラインに沿って提供すべき支援の内容を個々に合わせて設定しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					個々の支援内容を把握した上で支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15					個々に合わせた設定を行い、様々な学習やスキルの獲得に繋がるよう努めています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6		3	6		地域との関わりのある方ばかりであり、機会としては設けられていませんが、地域の方との関わり方の機会について検討していきたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					契約時に説明をしております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					計画案、本計画の説明を見直しごとに行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1		1	家庭でもできる支援方法など教えていただきたいです。	ペアトなどの研修機会も作りながら、ご家族への支援が充実できるよう努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	15					常に状況を共有できるよう努めております。情報の共有を行うことで、同じ方向性で支援を行えるよう努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15					相談していただける体制を作り、保護者の方に寄り添う姿勢を大切にしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	2		1	茶話会など交流の機会を設けてくださり嬉しいです。	定期的に茶話会を開催しておりますが、より多くの保護者の方にご参加いただける内容などを検討していきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1				迅速に対応できるよう努めております。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					個々に合わせた方法でお伝えするよう努めております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15					活動報告を見ていただけるよう、更新のたびに周知をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					十分に留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14			1		・マニュアルについては作成しておりますが、周知が不十分であったと思います。 ・避難訓練については頻度を増やす等検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			2		安心・安全に過ごしていただけるよう努めております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			2	・事故が起こったことがないため分からない	引き続き、安全の確保や速やかな連絡が行えるよう努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				・家族全員が安心して、信頼して通所させてもらっています。	・楽しいばかりではない中でも、利用を楽しみにしていただけていることは大変ありがたいことです。引き続き、一人一人に合った支援を行い、皆様が安心して楽しく通っていただくことができるよう職員一同努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15					
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				・心強く、親にとっても大切な場所になっています。 ・本人に合った支援をしてくださり満足しています。 ・2年生以降の支援を受けられたらよかったです。	保護者の方のご理解、ご協力を賜り大変感謝いたします。 引き続き皆様にご満足いただける支援を提供できるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	れっつ中庄（放課後等デイサービス）				公表日	R8年 3月 5日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		利用児に合わせて構造化できるよう、可動性のあるものを使用し、適切な空間を確保できるように努めている。	構造化に柔軟に対応できる環境づくり
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		基準を遵守し、利用児に合わせた配置にしている。	引き続き基準を遵守していく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		個々の特性に応じて対応している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		日々使用場所、物品の清掃を行い、清潔を保つように努めている。	清潔の保持や環境整備への意識を高める
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要に応じて対応できるよう、スペースを確保している。	対応しやすい環境づくりを行う
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		定期的な会議の実施により、目標設定、見直しができている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎年実施し、業務改善に繋げている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	実施していないが、外部講師等による研修や、法人内の内部監査を実施している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		当日参加ができていなくても、研修の動画を見て同じ情報を得ることができる。パートでも研修を受けることができ、新しいことを知る機会や学ぶ機会がある。	引き続き資質向上に向けた研修の開催を計画的に行う
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページにて公表している	定期的な見直しを行う
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		定期的なアセスメントや保護者の方との情報共有を行いながら作成をしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		定期的な会議を開催し、共有を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		アプリも使用して共有しやすい形にしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		定期的な実施する期間を決め取り組んでいる。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		個別性のある計画であることや、具体的に支援内容の設定ができるよう心がけている。	引き続き分かりやすく伝わりやすい記入を意識する
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		話し合いながら立案できる体制を作っている	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		利用児の発達段階に応じた内容の設定と、様々な活動や体験ができるよう設定をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個々の状況や特性に応じて計画をし、実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		必要な情報を共有し、内容の確認をしてから支援を行うようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後には、情報を共有する時間を作り、共有できるようにしている。記録を取りながら行い、参加できなかった場合でも確認できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援の振り返りを行う時間を作り、内容の検証や改善方法の検討を行うようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的実施している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		ガイドラインに沿って支援を組み立てている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		低学年が対象であるため、自分の考えを伝えることや自己選択をしていく機会を活動の中に取り入れている。	自己決定に繋がる力を育てるための取り組みについて学ぶ
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		基本的には児発管が参加し、必要に応じて支援担当者に参加できるようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		迅速に対応できる体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		保護者を通じたやり取りが主ではあるが、行事などや下校時間などの確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		就学前から利用している方が多いため、放デイ利用前から情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		2年生までを対象としているため、学校卒業までの対応はできないが、他事業所への移行の際には情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4	スーパーバイズを受ける機会は設けていなかった。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	案内があった際には参加できるよう調整している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時には直接お伝えし、連絡帳アプリ内でも共有ができるようにしている。定期的に面談を行い、アセスメント結果や取り組み内容などについて詳しく説明をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		茶話会を行い、ご家族同士の関わりや学べる機会を作っている。	次年度はペアトレなどの内容にも取り組む
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時又は変更時に説明をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		意思や意向の確認を定期的に行い、反映できるようにしている	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		直接説明をし、同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		定期的に時間を設けている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		年2回茶話会を実施している。きょうだい同士の交流の機会は年度末にイベントを開催し機会を設けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		迅速に対応できる体制を整えている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		HPを通じて情報の発信を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		HP掲載時や外出時には個人情報に配慮している。情報の持ち出しは基本的には行わない。必要な場合には許可を得てから行い、取り扱いに十分留意するようにしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		個々に応じた対応ができるよう努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	地域の方に参加していただけるような行事の計画はできていない。敷地内の施設のイベントに参加する中での交流はある。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルに沿って計画し、実施できるようにしている。	ご家族への周知が不十分であったため、定期的にお伝えする機会を作る
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPを策定し、内容に沿って訓練等を行っている。	非常災害の発生に備えた備蓄品などを整備していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		契約時に確認をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時に確認をし、必要に応じて対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を策定し、内容に沿って取り組んでいる。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		事務所内に設置し、いつでも確認していただけるようにしている。	定期的に周知を行う
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		アプリで共有できるようにしている。	ヒヤリハットへの意識を高める
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待に繋がることをしていないかチェックシートなどで振り返る機会がある。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		虐待防止委員会を中心に決定できる体制を作っている。支援計画にも記載し説明をしている。		